

氏名	林 峰 栄
授与した学位	博 士
専攻分野の名称	医 学
学位授与番号	博甲第 2870 号
学位授与の日付	平成17年3月25日
学位授与の要件	医歯学総合研究科生体制御科学専攻 (学位規則第4条第1項該当)
学位論文題目	Out-of-hospital Cardiac Arrest in Okayama City (Japan): Outcome Report according to the "Utstein Style" (“ウツタイン様式”に基づいた岡山市における病院外心停止 症例の調査報告)
論文審査委員	教授 大江 透 教授 佐野俊二 助教授 堤 明純

学位論文内容の要旨

本論文は、岡山市における病院外心停止症例を“ウツタイン様式”に基づいて集計し検討した初めての報告である。救急救命士による包括的指示下の除細動が認可された2003年6月1日から2004年5月31日までの1年間に病院に搬送された病院外心停止363例をプロスペクティブに集計し、その成績を評価・検討した。179例の心原性心停止のうち、目撃された症例は62例(34.6%)だった。そのうち初期心電図が心室細動だったのは20例(32.3%)で、1例が社会復帰した(5%)。この成績は、日本の中では標準的であるが、欧米と比較するとかなり低いレベルである。日本では欧米に比べて心室細動の症例が少ないことが原因と考えられ、成績改善のためには波形が変化する前に心室細動を捉えて、より早く除細動を施行する必要があると思われた。岡山市の病院前救急医療システムのさらなる評価・検討と病院外心停止症例の成績向上のために、今後もウツタイン様式を用いた継続的な調査が望まれる。

論文審査結果の要旨

本研究は、岡山市における病院外心停止症例をウツタイン様式にもとづいて集計し検討したものであるが、従来十分確立されていなかった岡山市における病院外心停止症例の頻度、内訳、成績および予後に関して重要な知見を得たものとして価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は博士(医学)の学位を得る資格があると認める。